教職キャリア支援室だより

第 9 号　令和7年 12 月号
茨城大学　全学教職センター
教職キャリア支援室 029-228-8327

＜＜１２月の開室日＞＞

※個別相談担当者と部屋（　）

月	火	水	木	金
1 小野瀬（B402）	2 角谷（B403） 内田（B404）	3 小野瀬（B402）AM 内田　（B404）	4 小野瀬（B402） 角谷　（B403）	5 角谷（B403） 内田（B404）
8 小野瀬（B402）	9 角谷（B403） 内田（B404）	10 小野瀬（B402） 内田　（B404）	11 小野瀬（B402）	12 角谷（B403） 内田（B404）
15 角谷　（B403）	16 角谷（B403） 内田（B404）	17 小野瀬（B402） 角谷　（B403） 内田　（B404） ※相談室打合せ	18 小野瀬（B402）	19 角谷（B403） 内田（B404）
22 小野瀬（B402）	23 角谷（B403） 内田（B404）	24 小野瀬（B402）	25 閉　室	26 閉　室
29 閉　室	30 閉　室	31 閉　室		

「自己分析」することで、志望動機・自己 PR をまとめよう！

まずは、「自己分析」。自己分析は、自分の価値観や特徴を理解するために、これまでの経験や考え方を振り返って整理するプロセスです。自分の過去の経験を整理し、どのような状況で力を発揮できたのか、どのようなことに喜びややりがいを感じたのかを掘り下げ、自分の得意なこと、苦手なことを整理します。そのことが志望動機の明確化にもつながり、説得力のある自己 PR が可能となります。

次に、「志望動機」。「自分はなぜ教員を目指すのか。」を明確にしていくことが大事です。志望動機というと、教員になりたいと思ったきっかけを思い浮かべるかもしれませんが、その自治体の教員になりたい理由や、どのような教育を実現していきたいのかなども含まれます。伝えたいことを厳選して、志望動機としてまとめる必要があります。

そして、「自己 PR」。教員として、実現したいこと、取組みたいこと、チャレンジしたいことは何なのか。その実現のために活かせる自身の強み（長所）はどんなことか。また、これまでの経験も重要なアピールポイントとなります。できるだけ具体的に言語化していきましょう。

以上、「自己分析」することで「志望動機」「自己 PR」が明確になり、志願書や面接票への記載だけでなく、集団・個人面接、論作文（小論文）、集団活動等々の要として、人物評価につながります。

相談室では、皆さんの「自己分析」「志願理由」「自己 PR」を一緒に考え、まとめていくための支援を行っています。ぜひ活用してください。